

2022年2月22日

お客様各位

セノー株式会社
<https://www.senoh.jp/>

段違い平行棒のルール対応について

拝啓、時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、弊社製品をご愛顧頂き誠にありがとうございます。

さて、2022年1月1日より体操競技のルールが改正され、器具についても一部高さの変更が発表されました。標題の製品については、高さ変更に伴い棒間（高棒～低棒）の幅についても変更となります。（参照:1）

当該製品（AD012262[2012年～]及びAD0200[2018年～]）については、幅員調節器の目盛りと棒間の数値に違いが起きてしまいますが（参照:2）のとおり、目盛りを〔180〕に合わせることによって、棒間は新ルールの数値になりますので、これまで通りご利用ください。

※棒間の数値は設置方法により、数ミリの誤差があります。

※正確な数値をご希望される場合は、棒間を測り調整してご利用ください。

なお、今後納品される製品については、目盛り表記を検討の上、対応を予定しております。引き続き弊社製品をご愛顧頂きますよう、お願い申し上げます。

敬具



(参照: 1) ルール概要

2017年～		→	2022年～	許容範囲
低棒	170cm		175cm	+ 5cm ±1cm
高棒	250cm		255cm	+ 5cm ±1cm
棒間	130~180cm		130~181cm	+ 1cm ±1cm

～棒間とは～

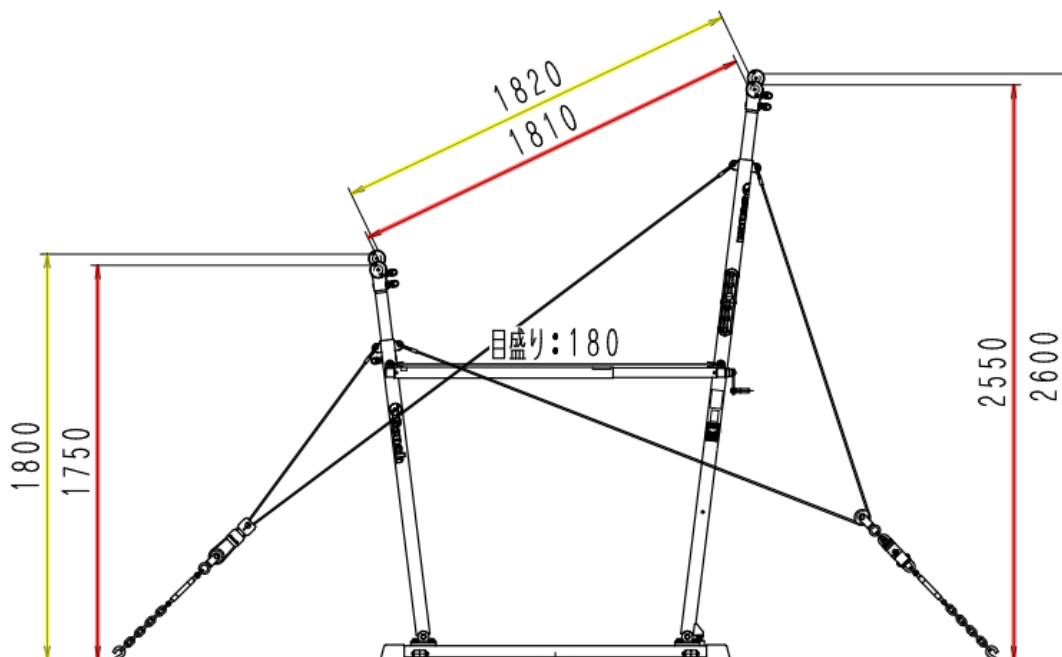
高棒から低棒の内側の距離のことをいう

『器械を上げる申請をした場合』

※選手の足がマットに触れてしまう場合、両棒を5cm上げることが許可される

低棒	180cm	→	180cm	変更なし	±1cm
高棒	260cm		260cm	変更なし	±1cm
棒間	182cm		182cm	変更なし	±1cm

(参照: 2) 高さ変更に伴う棒間の変化 ※幅員調節器の目盛りは 180 cm のまま



※AD0200、AD012262 2製品とも同様です。

※上記製番以外は、ご相談ください。